



学校教育目標  
郷土を拓く大地の教育



めざす子どもの姿  
協働して目の前の問題を解決していくことができる子ども  
(相手意識をもった自立した学習者)

- ・自分のわからなさがわかる
- ・わからないことをわからないと言える
- ・困っていることを困っていると言える
- ・自分の思いを伝えられる
- ・周りの人と協力してできる
- ・こんな自分でもいいんだと思える

めざす学校の姿  
授業をもとに子どもたちをとりまく問題や課題を解決する学校



めざす教師の姿  
子ども理解をベースに、子どもの心や思いに耳を傾け、つなぐ教師

重点活動

『子どもを主人公とした授業づくり』  
○9年間の学びをつなぐカリキュラムづくり  
○自分なりの学び方を身につける子ども

- ・「本質的な問い」をもとにした授業改善により、「協働の学び」の質を高める
- ・PDCAサイクルを意識した自学スタイル、主体的な家庭学習への転換(加-ムブツの活用)
- ・基礎的・基本的な学習内容の指導の徹底
- ・ICTをツールとして積極的に活用

重点活動

『ふるさと菅平に学び、郷土に生きる人材の育成』  
○生活科、総合的な学習の時間の独自カリキュラムの創造

- 子ども理解
- ＜中学校＞  
地域の一人としての学び  
提案・発信
- ＜小学校＞  
ドリムワークス活動の充実
- 特色ある教育過程を活かした地域連携  
スキー活動  
・菅平CSとの連携強化  
・キャリア教育の推進

重点活動

『誰もが安心できる集団づくり』  
○すべての子どもが安心して学べる集団づくり  
○自分も他者も大切に相手意識をもった子どもと教師

- ・対話活動を通して自他を尊重する人間関係づくり
- ・児童会・生徒会等の自治活動を通じた学び
- ・道徳教育・人権教育指導の充実
- ・異年齢集団による活動を積極的に計画
- ・対等に対話する子どもと大人(教職員)

子どもの失敗する権利を最大限 尊重しよう (自己肯定感・自己有用感を高めるために)  
小さな失敗を乗り越える経験、自己を振り返る活動を繰り返し体感することを通して

義務教育9年間の学びをつなぐ教育活動

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
夢中になって没頭する活動や学び		好奇心をもって探求する活動や学び				社会と自分との関係、地域に働きかける活動や学び		
学習ルール・基礎基本の習得		学習内容の定着・充実		学習内容の向上・発展、自主学習		自主学習の進化、拡充		
小・中教員の相互乗り入れの授業による教科担任制の導入								
校内スキー教室・大会			スキー科・スキー課外活動			スキー科・スキー部活動		